

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.195

2022. 1. 4
発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227

《新春メッセージ》



子どもたちに平和な未来を！

平和憲法・9条をまもる岩手の会よびかけ人
岩手県消費者団体連絡協議会会長 岩手県学校生活協同組合専務理事 川村 元

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年10月には衆議院選挙がありました。残念ながら自公政権の継続、そして改憲勢力が衆議院の3分の2以上を占める結果となりました。菅首相の後に誕生した岸田総理は、憲法改正について、「総裁任期中に憲法改正のめどをつけたい」としており、また日本維新の会も「来年夏の参議院選挙までに憲法改正案をまとめ、参議院選と同時に国民投票を実施すべきだ」と述べています。岸田首相は「国民の声を聞く」と言っていますので、憲法改正ではなく、今国民が求めていることを実施していただきたいものです。

新型コロナウイルス感染症も感染拡大が秋以降落ち着いていますが、新たなオミクロン株が発見され、その影響が懸念されるどころです。このコロナ禍のなか、格差が広がり生命や暮らしが脅かされていますが、私たちが望むのは誰もが安心して暮らすための社会保障や様々な問題を政治が解決することです。

その私たちの暮らしを守るもととなるのは憲法なはずですが、今は平和や基本的人権を脅かす前提での議論が行われています。本来、憲法は国民を守るものであり、権力を持つものを縛るためのものですが、現在は権力を持つものが国民を縛るためのものにしようとしています。

国民の暮らしを守るために、平和や基本的人権が尊重されることが前提で議論することは必要なことと思いますが、改憲や加憲の結論ありきの議論は許されません。

子どもたちに平和な未来をつないでいくために、この間守りつづけてきた平和憲法を守り・いかす取り組みをさらに広げましょう。



「9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」（2021年12月末現在）

岩手の署名数 24,575筆

《署名が「憲法改悪を許さない全国署名」に変更になりました》

すでにお知らせしていましたが、全国市民アクションと総がかり行動実行委員会は、先の総選挙後の憲法をめぐるあたらしい情勢に対応するため、新しく「憲法改悪を許さない全国署名」に署名用紙をリニューアルしました。署名期限の設定など、取り組み方については、後日あらためて発表とのことです。この署名は従来取り組んできた「改憲発議反対全国緊急署名」などに署名していただいた方々も含め、署名していただけます。

- ①新しい署名用紙がほしい場合は、岩手県生協連までご連絡ください。
- ②これまで集めてきた「9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」は、全国市民アクションにまとめて送ります。お手元にある場合は、お早めに岩手県生協連までお送りください。

お知らせ

「9条改憲NO! 全国市民アクション岩手の会」学習集会

「憲法を変えて『戦争のボタン』を押しますか」 ～「自民党憲法改正草案」の問題点～（仮題）

2月20日（日）10:00～12:00（開場9:30）

※終了後に、ピースパレードを行います

岩手教育会館 多目的ホール（盛岡市大通1-1-16）

講師：清水雅彦氏（日本体育大学教授・憲法学専門・九条の会世話人）

◇内容：学習講演、質疑応答、岩手の会今後の取り組み提起

◇講師は会場に来て講演を行う予定。新型コロナ感染状況により、オンライン講演になる場合もあります。



《平和憲法・9条をまもる岩手の会学習交流会について》

平和憲法・9条をまもる岩手の会学習交流会は、年1回、情勢の学習と、同じ思いで活動している県内各地のみなさんとの交流の場として開催してきました。

昨年開催できませんでしたので今年も行いたいという思いはありましたが、先月末の運営委員会で話し合った結果、延期することにいたしました。

交流会開催については、あらためて検討してお知らせしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



一日米開戦80年、太平洋戦争開戦80年、

今年も日本が過去に行った「戦争」について考えた…一

昨年12月8日も、日本が過去に行った戦争についていろいろな発言がありました。コラム子も一緒に考えました。

曰く、「日米開戦80年 時代の気分が語るもの」「太平洋戦争開戦80年 半藤氏の警告 生かせるか」「真珠湾攻撃参加 絶えぬ後悔 100歳の涙 生き延びた痛み今も」「日米開戦80年 最北の特攻 悲劇知って 犠牲者思い不戦願う」など、今年もいろいろの言葉で語られました。

戦争の惨禍で多くの国民が塗炭の苦しみを負ったこと、空襲や原爆投下で国民が「民族の存亡の危機に立たされた」ともいわれる苦しみに国民が立たされたことに全くの同感です。毎年この日はそのように思います。そして何時も思い浮かぶものは、「政府の行為により二度と戦争の惨禍が起こることのないように決意しここに憲法を確定する（日本国憲法前文）」です。

ここからコラム子は、毎年どうしてその「戦争」が起きたのか、やむを得ない自然現象だったのか、否「人間」が始めたのではないのでしょうかと毎年思いを新たにしております。ならば、「誰」がそれを始めたのか。

これは、コラム子の穿ち過ぎの考えでしょうか、急ぎ過ぎの議論でしょうか。皆さんは、どのようにお考えでしょうか。（T）

1月の街宣署名行動

1月11日（火）12:15～12:45

盛岡市大通・野村証券前

「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけ、人との距離を保って宣伝を中心に行います。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

